

「西東京子ども放課後カフェ」

1 概 要

市内公立中学校の学校内において、地域の大人が運営するカフェ。

中学生を対象に無料で飲み物を提供し、おしゃべりをしながら自由に過ごす放課後の居場所。(学校によっては、ボードゲームやトランプ等が用意されている)

2 目 的

中学生が放課後に過ごせる居場所(カフェ)を地域の大人が提供することで、子どもと大人、地域の大人同士がつながり、市内の中学生を巡るいじめや不登校の予防等を図る。

3 市とのかかわり

平成 30 年度 N P O 等企画提案事業の募集テーマ「子どもの居場所づくり」に団体が応募し、当事業が採択された。

4 事業効果

- (1) 連絡会が設けられ、各学校間の情報提供・情報交換が密になった。
- (2) 新規に 1 校カフェが立ち上がり、より多くの子どもにとって居場所ができた。
- (3) 団体会員数が増加し、協力者の裾野を広げることができた。

5 今後の課題

- (1) 子ども放課後カフェに携わる市民の育成講座の検討
- (2) 未実施校 2 校へのアプローチ
- (3) 西東京子ども放課後カフェの運営財源の確保
- (4) 市・市内各中学校との最適な連携のあり方の検討(カフェの内容、安全面等)

6 参加されている主な団体

- 民生児童委員
- 青少年育成会
- 社会福祉協議会(ほっとネット推進員等を含む)
- 各中学校 P T A、おやじの会
- 保護司

…等々

<西東京子ども放課後カフェについて>

- 中学校名（設立順）**
- ① 主な協力グループ（人数）
 - ② 開催頻度
 - ③ 主な実施教室
 - ④ 提供ドリンク
 - ⑤ 平均的な生徒の参加数
 - ⑥ その他

- ④ 田無第三中学校（サンカフェ）**
- ① 三中応援団、育成会、PTA（人数未詳）
 - ② 各学期1～2回
 - ③ 第2音楽室
 - ④ 緑茶、麦茶、紅茶
 - ⑤ 50人前後
 - ⑥ 生徒が1人でも気軽に入ることができるように、落ち着いた居場所作りを重視

- ⑤ 保谷中学校**
- ① 社会福祉協議会、民生児童委員（6～10人）
 - ② 未詳（回数少）
 - ③ 調理室
 - ④ カルピス、麦茶、ココア
 - ⑤ 100～150人
 - ⑥ 漫画の貸出しあり。

- ⑦ 田無第四中学校**
- ① 保護者（現役・OG）、民生委員など
 - ② 各学期1～2回（年間4回）
 - ③ 調理室
 - ④ 紅茶、コーヒー、麦茶
 - ⑤ 50人
 - ⑥ 平成30年度より実施

- ⑥ 柳沢中学校（やぎカフェ）**
- ① 育成会、おやじの会、民生児童委員、PTA（約15人）
 - ② 月3～4回
 - ③ 調理室
 - ④ カルピス、ココア、レモンティー、緑茶など
 - ⑤ 46人/回（平均）
 - ⑥ カードゲーム・ボードゲームの貸出しあり。

- ② 青嵐中学校（せいらんブックカフェ）**
- ① 民生児童委員、育成会、学校運営協議会、ふれまち、ほっとネット（11～18人）
 - ② 各学期2～3回（年間8回）
 - ③ 図書室
 - ④ カルピス、ミルクティー、レモンティーなど
 - ⑤ 120人
 - ⑥ 熱心に読書をする生徒がいる。部活動への差し入れをすることもある。

- ③ ひばりが丘中学校（ひばりカフェ）**
- ① 民生児童委員、ひばりが丘児童センター、同窓会、ほっとネット（8～12人）
 - ② 各学期1～2回（年間5回）
 - ③ 1階視聴覚室
 - ④ カルピス、麦茶、ミルクティー、ココアなど
 - ⑤ 140人
 - ⑥ 本やボードゲームなどを貸出している。

- ① 田無第一中学校**
- ① 育成会、PTA、社会福祉協議会など（6～10人）
 - ② 各学期2回（年間6回）
 - ③ 家庭科調理室
 - ④ コーヒー、カルピスなど
 - ⑤ 100～200人
 - ⑥ 漫画、絵本等の貸出しあり。

- 明保中学校**
立上げ働きかけ中

- 田無第二中学校**
立上げ働きかけ中

